

一般財団法人ルンデ 第8期事業計画

・主催コンサート

国内外で活躍する演奏家を主軸にして35回の室内楽・器楽のコンサートを主催の計画をたてています。

- 10/3 小菅優 ソナタ・シリーズ Vol.3
- 10/13 アリオン・サクソフォン・カルテット
- 10/29 金澤攝 ライネッケ6
- 11/4 桑形亜樹子 チェンバロリサイタル
- 11/9 マグナムトリオ
- 11/18 ドミトロ・ウドヴィチェンコ 無伴奏ヴァイオリンリサイタル
- 11/24 若林顕 ベートーヴェンピアノ・ソナタ全曲演奏会 第1回
- 11/25 金澤攝 ブゾーニ1
- 12/15 堀米ゆず子 無伴奏ヴァイオリンとヴァイオリン・ソナタ
- 12/21 中村太地 無伴奏ヴァイオリン
- 12/22 黒田亜樹 ピアノリサイタル
- 1/18 金澤攝 ブゾーニ2
- 1/19 葵トリオ 其の参
- 1/25 近藤嘉宏「リスト・パラフレーズ」
- 1/26 アンドレイ・コロベニコフ「鐘」
- 2/8 児玉桃 ピアノリサイタル
- 2/24 三村奈々恵 マリンバコンサート
- 3/1 村治奏一 クラシックギターリサイタル
- 3/16 川口成彦 ピアノ・リサイタル
- 3/25 小菅優 ソナタ・シリーズ Vol.4
- 4/5 イノン・バルナタン ピアノリサイタル
- 4/6 S.D.E「管」 木管五重奏リサイタル
- 4/21 クリストフ・コワン&金子陽子 チェロ・リサイタル
- 5/6 ハンスイェルク・シェレンベルガー オーボエ・リサイタル
- 5/11 NOK サクソフォンカルテットリサイタル
- 5/24 福田進一 クラシックギターリサイタル
- 6/15 フィリッポ・ゴリーニ ピアノリサイタル
- 6/16 フランク・ブラレイ ピアノリサイタル
- 6/22 ティモシー・チューイ ヴァイオリンリサイタル
- 7/5 中川優芽花 ピアノリサイタル

7/6 若林颯・鈴木理恵子 ベートーヴェンの深遠な世界～ヴァイオリン・ソナタ全曲コンサート 第2回

7/21 コントラバス・オモテット

8月（日程未定） アンソニー・ロマニウク キーボードの祭典（仮）

9月（日程未定） 津田裕也 ピアノリサイタル

9月（日程未定） 弦楽四重奏団（水谷晃・村上淳一郎・山崎伸子ほか）

・共催

協力コンサート 6回（企画中および予定含む）

・後援

ちゅうしんコンサート 2024年11月13日 黒田鈴尊&この紫 尺八・三味線 デュオ・コンサート

ちゅうしんグリーンコンサート 2025年5月（予定）

・来場者サービス

第8期中に、有料WEB会員システムを作成し、コンサート案内やチケット代の前払ポイントでの購入の仕組みを導入する。

オフライン会員システムの企画を作成する。インターネットが不得手な来場者に向けた郵送等による有料案内、チケット購入サポートシステムを作成を目指す。

一般財団法人ルンデ 第8期予算算定の根拠

基本財産運用益（法人会計）：

ソフトバンクの株式配当と受取利息を実績より算出。

事業収入（コンサート収入）：

第7期の1公演あたりの有料入場者平均70名より、有料入場者を1公演あたり平均80名とし、チケット販売額の平均値4000円として算出。

受取補助金等（かるふあん）：

第6期、第7期の実績より設定。

受取寄附金等（寄附金）：

株式会社ダイブレイクフレーバー より 年間300万

村林 基彦 より 年間100万

有限会社イーキュー より 年間 50 万  
株式会社カスケード より 年間 50 万  
竹中 三四郎 より 年間 30 万  
の寄附の確約を 8 期は得る。

諸謝金（出演料）：

第 7 期までの 1 公演あたりの平均出演料 400,000 円を基礎とし算出。

賃借料（ホール使用料）：

Halle Runde 使用料（平日午後夜間、土日祝午前午後の区部：90,000 円）を基礎として算出。

なお、レセプション（ホール開場時・コンサート終演時の受付・誘導人員）、音響・照明・映像の設営はこの金額に含む。金銭管理および進行は役員にておこなう。

印刷製本費（デザイン・印刷費）：

チラシのデザインを元に、チケット、Web サイト画像素材、当日プログラム等の展開も含めたデザイン費、1 公演 40,000 円、印刷代 20,000 円を基礎として算出

租税公課（公 1、法人会計）：

消費税に関しては、税抜会計で還付予定、還付額との差額を計上。法人税等は県税・市税の均等割のみで算出。

雑費（公 1、法人会計）：

クレジットカード決済等の決済手数料、銀行振込振替手数料、サーバー利用料、著作権使用料、税務申告書作成料を第 7 期実績より算出。

減価償却費：

第 7 期にて償却終了のためなし。

なお、共催および後援に関しては、詳細が未定であり金額への直接関与度合いが低いため収支予算計算に含まず。